

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ミズイロオナガシジミ	シジミチョウ科	控えめなゼフィルス	X	X	○	全国
成虫発生時期 (月)						
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12						
食草 ○ 食樹			発生回数/年		越冬形態	
クヌギ、コナラほか (ブナ科)			1		卵	



川崎市 6月2日 (2017年)



川崎市 5月27日 (2018年)



横浜市 6月11日 (2020年) 右下にウラナミアカシジミが見える



オナガシジミ 長野県南佐久郡 7月29日 (2020年)

生田緑地ではアカシジミに続いて出てくる蝶で羽の表は一面に濃灰色で後羽の一部に少し水色っぽい班がでることからの名付けられたのでしょうか。裏は白をベースに独特の模様が入っています。

オスはミドリシジミのような占有行動はとらず、飛び回っているのを見るよりも、下草にとまってじっとしているのを見かけることが多いので、アカシジミのオレンジ同様に、白い羽が緑の中で目立つので見つけやすい蝶です。

生田緑地周辺にはいませんが、本種に似た蝶にオナガシジミがいます。幼虫はオニグルミを食しゼフィルスのひとつです。